

モモのカイガラムシ類情報第1号

平成25年5月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

クワシロカイガラムシの防除適期は5月14日～18日、
ウメシロカイガラムシの防除適期は5月11日～14日です。
防除適期を逃さないように注意しましょう。

1 モモのカイガラムシ類について

モモを加害する主なカイガラムシ類は、クワシロカイガラムシ（以下、クワシロ）とウメシロカイガラムシ（以下、ウメシロ）です。受精した雌成虫は、枝幹などに寄生して越冬します（図）。例年4月下旬頃から産卵が始まりますが、卵や雌成虫は殻に覆われて薬液が虫体に付着しにくいいため、この時期の農薬散布は効果的ではありません。農薬による防除効果が高い時期は、殻をかぶっていないふ化幼虫の発生ピーク時期です。この時期を逃すと、防除効果は急激に下がります。また、気温によりふ化幼虫の発生ピーク時期が変動するので、年により防除適期は数日前後します。



図 ウメシロカイガラムシの寄生状況

2 防除適期予測

ふ化幼虫の発生時期が比較的そろそろ、第1世代ふ化幼虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用した第1世代ふ化幼虫の発生ピーク予測日は、クワシロが5月14日～18日、ウメシロが5月11日～14日です（下表）。本年は、3月中旬から4月上旬にかけて気温が昨年より高く推移したため、第1世代ふ化幼虫の発生ピーク日は、昨年より2～5日早いと予測します。なお、予測日は、今後の気温が平年並に推移した場合を想定しています。気温が低いと発生ピーク日が遅れる場合があります。

表 クワシロカイガラムシ及びウメシロカイガラムシの第1世代ふ化幼虫発生ピーク予測日

	クワシロカイガラムシ					ウメシロカイガラムシ				
	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋
本年予測	5/14	5/14	5/18	5/14	5/17	5/11	5/11	5/14	5/11	5/13
(前年)	5/17	5/17	5/22	5/19	5/19	5/14	5/14	5/18	5/16	5/16
前年差	3日早	3日早	4日早	5日早	2日早	3日早	3日早	4日早	5日早	3日早

注) 本年の予測日は、各地のアメダス平均気温を利用して計算。

4月30日までは本年実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。
前年については、前年気温の実測値を用いて計算。

3 防除

それぞれのほ場で主に発生しているカイガラムシ類について、表を参考に防除適期を予測し、コルト顆粒水和剤やスプラサイド水和剤などで防除しましょう。なお、アプロード水和剤は残効性に優れているため、発生ピーク予測日より数日早めに散布しましょう。